

令和元年度
事業報告書(案)

目次

1. はじめに.....	1
(1) 令和元年度の社会状況.....	1
(2) 皆様からの支援.....	3
(3) 法人全体の取り組み状況.....	3
(4) 役員構成.....	6
2. 障害者支援施設リバティ神戸 事業報告.....	7
(1) 事業所の概要.....	7
(2) ご利用状況について.....	7
(3) サービスの内容.....	8
3. 身体障害者デイサービスセンターリバティ神戸 事業報告.....	10
(1) 事業所の概要.....	10
(2) ご利用状況について.....	10
(3) サービスの内容.....	10
4. はみんぐ 事業報告.....	12
(1) 事業所の概要.....	12
(3) サービスの内容.....	12



社会福祉法人祉友会

1. はじめに

(1) 令和元年度の社会状況

令和元年が5月1日から始まり、大型台風や集中豪雨などの被害があったものの年末までは安定した経済状況が続いていました。しかし1月以降、世界中に新型コロナウイルスが流行したことにより戦争に例えられるほど社会が一変する事となりました。

新型コロナウイルスは2019年12月には中国武漢で感染拡大が起これ、その後新しいSARSウイルスであることが確認されました。当初は人から人への感染リスクが低く発表されたこともあり、春節に合わせて中国から世界中に多くの旅行者が訪れていましたが、その後強い感染力と重度化・死亡率が高いことが判ってから感染予防が厳格になり、各地で都市封鎖が行われ、経済活動が止まり、感染防止のために他人と近づくことが出来ない社会になりました。日本でも学校の休校や東京オリンピック・パラリンピックを1年程度延期するなど、非常に大きな影響が出ました。

社会分野では、高齢ドライバーが多数の歩行者を死傷させる交通事故が起これ、高齢者の免許返納や自動ブレーキなど安全装置を持つ自動車に関心が高まりました。7月には第25回参議院議員通常選挙があり、自民党などの与党が信認を受けて過半数を確保しています。9月から11月にかけてはラグビーワールドカップ2019が開催されたことでラグビーブームが起これ、満員となったスタジアムや高い視聴率、海外選手や外国から来たファンへのおもてなしなどが全国で見られました。

また、九州での大雨を始め9月に台風15号が千葉県に上陸、大規模な停電が発生したほか、10月に非常に強い台風19号が上陸、東日本を中心に各地で洪水が発生し甚大な被害が生じ、その後も千葉県を中心に豪雨被害が発生するなど、異常気象の頻度が高まっている事を感じました。年末にはゴーン氏が国外逃亡したことで長期拘留や保釈の条件など日本の司法問題に関心が集まりました。そのほか年間を通じて中国公船等が日本の尖閣諸島周辺の領海に侵入を続けており、2010年の尖閣諸島中国漁船衝突事件以降も続いている漁業者の安全確保や海上保安庁などへの負担が問題となっていました。

経済分野では、従来はダブ屋などと呼ばれていた「販売・流通量が限られたチケットなどの商品を買占めて高値転売をすること」について、組織的な店頭での買い占めのほか、ネットサイトで自動ツール等を使って買い占める事例が増えてきました。元の販売者のマ

マーケティングを妨げ、消費者にとっては購入を妨げることから、“流通を妨げるため”として6月にチケット不正転売禁止法が施行されました。8月には韓国がキャッチオール規制（軍事転用が可能なものの輸出規制）の厳格な管理が明白でないとして日本側の審査を厳しくすることになり、結果として高純度フッ化水素などの輸出が減少したことから、韓国は貿易問題として抗議をしました。

10月からは消費税が原則10%となり、一部食材などを8%にする軽減税率制度が始まりましたが、これまでの税率変更と比べると買い控えなどの影響が少ない結果になりました。

2月以降は新型コロナウイルス感染予防のために外出自粛が呼びかけられ、外国人旅行者が激減するなど旅行業界をはじめとした多くの分野で極めて大きな影響がありました。

社会福祉分野では、れいわ新選組から重度の身体障害がある国会議員舩後靖彦氏と木村英子氏が初当選し、これまで変わらなかった働く障害者の通勤に対する制度が変わるきっかけとなりました。

福祉の人材不足については深刻な状況が続き、外国人技能実習制度などを利用した外国人労働者の活用が多く介護施設などで見られるようになりました。

また、「我がごと丸ごと」や「地域貢献活動」についても議論が続き、社会保障費の効率化の観点からも複数の社会福祉法人が連携し、大規模化を目指す方向が見えてきました。

(2) 皆様からの支援

このような社会情勢の中、主に障害福祉サービスの利用料収入と補助金・助成金など、皆様からの支援を受け以下の取り組みを実施しました。

(ア) 法人が頂いた補助金・助成金など

- ① 神戸やまぶき財団 様 送迎車両購入の助成金 335万円
- ② 神戸市
 1. 保健福祉局様 施設整備資金等補助 54万1409円
 2. 保健福祉局様 重症心身障害者加算金 147万3千円
 3. 水道局様 下水道料金の一部減免
- ③ 利用者ご家族様 施設運営への寄付金 4件5万円

(イ) ボランティアの皆様

- ① 入所者個人への定期的な学習支援のほか、行事での機材レンタル、各事業所で日中活動などにご協力いただきました。

(3) 法人全体の取り組み状況

(ア) 経営面では、

- ① 職員数の増加と待遇改善により人件費が1500万円増えましたが、設備投資が少なかったことにより、事業収支+270万と若干の黒字を確保しました。
- ② ムース食を使った食事の経口摂取維持と改善に取り組みました。
- ③ 法人内の3事業所による合同行事として、食事交流会を実施しました。限られたものではありませんが、入所者と通所利用者との交流をすることができました。
- ④ 老朽化した通所事業所の送迎車両1台について、補助金を使い更新をしました。
- ⑤ 地域の重度身体障害者への支援を充実させるために神戸市立入所施設の指定管理に応募しましたが、残念ながら不採用となりました。
- ⑥ 法人の方向性を明確にするため、職員からロゴマークを公募し、理事会で調整をしたのちに商標登録を行いました。



(イ) 人事面では

- ① 介護休業・育児休業・再雇用制度については、申請者全員が利用しました。
- ② 有給休暇はパートなどの雇用形態にかかわらず使用・連休の使用等が定着し、正職員の使用率では96.2%（前年比+17.8%）となり、平均残業時間も0.98時間/月となりました。また直近3年間の新卒採用職員 離職者0名が続き、2018年度からのユースエール企業認定を更新しました。
（ユースエール認定基準で計算）
- ③ 公正な人事を行うための人事委員会を実施し、人事異動・賞与査定・給与制度について協議しました。
- ④ 公募事業への準備のため、年間を通して採用活動を行い入所施設では職員配置を4名程度増やし、外国人技能実習3名の受け入れ契約をしました。
公募については不採用となったため、余剰人員については次年度の新しいサービスへの配置と自然減で調整する予定です。
- ⑤ 職員同士のコミュニケーションを図るため「職員余暇活動等助成制度」を設け、職員2名以上の余暇活動に対して1回千円、月2回までの支給をしました。
- ⑥ 10月からの特定処遇改善加算を利用し、給与体系の同一労働同一賃金への対応（給与表の連動など）を行いました。
- ⑦ 子育て中の職員支援として、小学校入学時に1年間の時短勤務が可能となるように制度を拡充しました。

(ウ) 報酬外で無償・低価格な福祉サービスを行う取り組みについて

- ① 施設入所者の外出付き添いと無料送迎をしました。
- ② インターネット環境の無料提供をしました。
- ③ ご家族がおらず、自分で買い物が出来ない利用者について、無償で買い物代行をしました。
- ④ 身寄りのない高次機能障害を持つ地域の障害者1名に対し、アパート契約の連帯保証人や引っ越し手伝い、銀行手続き、病院受診の送迎・付き添いなどの支援を無料で行いました。
- ⑤ 福祉避難所の設置について機材の準備をしました。
- ⑥ 支援を充実させるため、非常勤の言語聴覚士1名を入所に配置しました。

(エ) 情報公開では、

- ① 法人のウェブサイトで決算書類などを積極的に公開しました。
- ② 事故・怪我・病気などについては、利用者のご家族・行政へ随時報告しました。

(オ) 業務の改善について

- ① 年間の事務について、年間スケジュール表に登録し管理しました。
- ② 入所施設のベッドについて、電動ベッド6台を追加し、今年度で電動ベッドへの入替が8割完了しました。
- ③ 感染症対策として、定期的な血液検査を実施し、入所部門では介護用エプロンをディスポーザブル用品（毎回交換・処分）にしました。
- ④ 支援記録システム「福祉見聞録」を活用し、支援記録を充実させました。
- ⑤ 新型コロナウイルスが流行しはじめ、使い捨てマスクが入手困難となりましたが、過去の新型インフルエンザ対策として4か月分の在庫を確保していたことから、職員全体で1日1回の交換頻度を守ることが出来ました。
- ⑥ 入所看護師の夜間対応でビデオ通話をするため、業務用スマホを購入しました。
- ⑦ 不審者・暴漢対策として、非常通報装置（警察に直通）を導入しました。
- ⑧ ご利用者への接遇で不適切な例があったため、接遇と人事制度の改善に着手しました。
- ⑨ 10年以上使用し故障が起きるようになったため、リバティ神戸の事務用複合機2台を更新しました。

(カ) 福祉団体を通じた地域公益活動について

- ① 神戸市内
神戸市西区自立支援協議会（KOBE WEST NET）、ほっとかへんネット Kobe・西、
神戸市身体障害者施設連盟
- ② 兵庫県内
兵庫県身体障害者支援施設協議会、兵庫県社会福祉施設経営者協議会、兵庫県
社会福祉議会
- ③ 広域・全国
近畿地区身体障害者施設協議会、全国身体障害者施設協議会、全国重症心身障
害日中活動支援協議会

(4) 役員構成

役職	氏名	勤務形態 担当
理事長	山本文夫	非常勤
業務執行理事（施設長）	柴田健吾	常勤、リバティ神戸
理事	藤本徹	非常勤
理事（管理者）	山下華代	常勤、はみんぐ
理事	山本晴幸	非常勤
理事	村山吉康	非常勤
監事	仲間正	非常勤、財務担当
監事	中田義則	非常勤、運営担当

その他各事業所の詳細については、以降各章の通りです。

当法人と施設運営に対しご協力頂いた皆様に感謝申し上げます。

2. 障害者支援施設リバティ神戸 事業報告

(1) 事業所の概要

所在地	神戸市西区伊川谷町潤和2-2 (2~3階)	
施設種別及びサービス種類 ／ 定員	障害者支援施設 ● 施設入所支援 52名 ● 生活介護 57名 ● 短期入所 (併設型)	
居室	1人部屋 5室 2人部屋 26室 (計57床)	
主な対象者	18歳以上の身体障害者で施設に居住される方。	
営業日	年中無休。	
営業時間	● 施設入所支援 午後5時から翌午前9時まで ● 生活介護 午前9時から午後5時まで ● 短期入所 午前9時から翌午前9時まで	

(2) ご利用状況について

施設入所支援・生活介護のご利用者

年度初めの入所者51名から1年間で入所4名・退所4名があり、最終的に年度末では51名でした。その結果、施設入所支援の利用者が述べ1万8339名（前年比+305名）となりました。

年度末における入所ご利用者の年齢構成は、20歳から82歳であり、60歳以上の方が26名（前年比±0名）で全体に占める割合が51%、平均年齢は56.7歳（前年比+0.5歳）で、昨年度から平均年齢が若干上がりました。男女の比率は男性が26名、女性が25名です。施設報酬区分の基礎となる平均障害程度区分は施設入所支援及び生活介護が5.7（前年同じ）となっております。

短期入所のご利用者

利用人数は延べ959名（前年比-112名）でした。平均障害程度区分は5.4（前年比-0.1）です。

定期的なご利用のほか、将来に備えた訓練的なご利用、介護者の急な入院などによる当日または翌日の緊急受け入れなどを行いました。新型コロナウイルスのため2月以降は受け入れがほぼ0名となり、大きく減少しました。

(3) サービスの内容

下記の通りサービスを実施いたしました。

日常のスケジュール

7:00	起床・洗面・着替え	理学療法	随時(月～金曜)
8:00	朝食・歯磨き・服薬	作業療法	毎週1回
9:00	体操・清掃	言語聴覚士	毎週1回
10:00	水分補給	医師回診	毎週1回(日曜)
12:00	昼食・歯磨き・服薬	シーツ交換	毎週1回(週末毎)
13:00 ～ 15:40頃	入浴(月・木 一般浴)※ (火・金 機械浴)※ 喫茶コーナー	コップ漂白	毎週1回(日曜)
14:00	水分補給	体重測定	月1回
18:00 18:30	夕食・歯磨き・服薬	買い物代行	毎週1回(木曜)
夕食後	非入浴者清拭・着替え	パン訪問販売	毎週1回(金曜)
19:00	水分補給	理容訪問サービス	月2回(第1・4週)
20:00	眠前薬服用	洋服訪問販売	年数回
21:30	消灯・就寝	洗濯	毎日
		お菓子作り	2ヶ月に1回程度
		外出支援	年2回+随時
		訪問口腔ケア活動	毎週1回(火曜)

※夏季については、週3回入浴です。

年中行事/クラブ活動

4月	不在者投票(3日) お花見(3.6.7.10日) お菓子作り(24日) のじぎくスポーツ大会(28日)	月例行事 (毎月1回) ・誕生日会・茶話会 ・入所者自治会(ハイビス会) ・日中活動(週2～3回) カラオケ 映画鑑賞 レクリエーション 工作活動 音楽レク 生け花 など
5月	低カロリーお菓子作り(22日) 健康診断(28日)	
6月	スポーツ大会(5.8.9.12日) 遠足(22.29日) お菓子作り(26日)	
7月	七夕会(7日) 遠足(10.17.27日) 低カロリーお菓子作り(31日)	

8月	遠足 (10日) 夏祭り (17日) お菓子作り (21日)
9月	避難訓練 (25日) 遠足 (8.11.29日) 低カロリーお菓子作り (25日)
10月	遠足 (9日) レストランメニュー (5日) 一泊旅行 (16~17日) お菓子作り (30日)
11月	遠足 (6日) 3事業所交流会 (14日) 健康診断 (26日) 低カロリーお菓子作り (27日)
12月	クリスマス会 (21日) 年越し (31日)
1月	元旦 (1日) 初詣 (2.3.5日) 新年会 (8日)
2月	節分豆まき (2日) V.Dお菓子作り (12日)
3月	ひな祭り (1日) 避難訓練 (4日) W.Dお菓子作り (11日) お花見 (中止)

健康管理

- ① 利用者の健康管理に関しては毎週日曜日の嘱託医師診察と、火曜日の歯科医の口腔ケア、年2回の健康診断を実施すると共に、必要な場合は適時受診を行い体調の維持に努めております。
- ② リハビリでは、平日（月～金曜日）に理学療法士による機能訓練を実施に加え、それぞれ毎週1回の作業療法士と言語聴覚士による訓練を実施しました。

食事の提供

管理栄養士によって随時メニューを変更し、大量調理マニュアルに添いながら、出来るだけ利用者の嗜好に合った食事の提供を心がけました。

3. 身体障害者デイサービスセンターリバティ神戸 事業報告

(1) 事業所の概要

所在地	神戸市西区伊川谷町潤和2-2 (1階)
施設種別及びサービス種類 ／ 定員	指定障害福祉サービス事業所 生活介護 20名
主な対象者	神戸市西区・明石市の一部の自宅から通う18歳以上の身体障害者
営業日	月曜～金曜日まで。その他、年末年始・盆・臨時に休業
営業時間	午前8時30分から午後5時30分まで (サービス提供時間は午前9時から午後3時10分まで)
送迎車両	ワンボックス 4台 (車いす仕様)

(2) ご利用状況について

ご利用者

1年間の生活介護利用者数は営業日数251日に対し延べ3,965名(前年比-85名)、1日平均15.8名(前年比-0.5名)でした。

生活介護の年度末における利用登録者の年齢構成は、19歳から52歳です。

男女の比率は男性が17名、女性が7名となっております。

平均障害度程度区分は5.8(前年と同じ)でした。退所者のほか、2月以降にコロナウイルスによる影響が出ています。

(3) サービスの内容

介護・食事・訓練・入浴・送迎など在宅者に向けた生活介護サービスを実施しています。日中活動には力を入れており、午前中は個別支援計画に添って個別活動を行い、午後は想像力や感情表現を豊かに養っていただけるようにグループ毎に分かれてそれに因んだゲーム等を行い、集団活動を愉しんで頂きました。

日常のスケジュール

8:30	送迎開始	機能訓練 週4回(火～金曜) 体重測定 2ヶ月に1回 パン訪問販売 毎週1回(金曜) 理容訪問サービス 月2回(第1・4週) 更生・健康相談 随時 御家族との面談 半年毎
9:00 (到着後)	健康チェック・入浴 レクリエーション 支援計画に沿った個別活動 社会適応訓練・創作活動	
11:30	昼食・歯磨き・服薬	
12:30	リラックスタイム レクリエーション・社会適応訓練 入浴・創作活動 支援計画に沿った個別活動	
15:10	送迎開始	
17:30	業務終了	

年中行事

4月	ランチ外出(9～11日)	月例行事 ・誕生日会(毎月1回) ・ビデオ鑑賞会(随時) ・カラオケ(随時) ・デイサービス便りの配布(毎月1回) ・散歩外出(随時)
5月	母の日のプレゼント作り 散歩外出	
6月	父の日のプレゼント作り 屋外お楽しみランチ会(4.19日)	
7月	七夕ゲーム大会(2～3日)	
8月	夏祭り(8～9日)	
9月	散歩外出 クッキング	
10月	散歩外出 おやつ作り	
11月	遠足 どうぶつ王国(1日) 遠足 フルーツフラワーパーク(7日) 合同行事(14日)	
12月	クリスマス会(19～20日)	
1月	新年会(6日) 初詣(14～17日)	
2月	節分(3日) バレンタインクッキング(13～14日)	
3月	ひな祭りゲーム大会(3日)	

4. はみんぐ 事業報告

(1) 事業所の概要

所在地	神戸市西区和井取 1-12
施設種別及びサービス・定員	指定障害福祉サービス事業所 ・ 生活介護 20名
主な対象者	神戸市西区・明石市の一部の自宅から通う 18 歳以上の身体障害者
営業日	月曜日から金曜日まで。その他、年末年始・盆・臨時に休業。
営業時間	午前 9 時から午後 3 時まで
指定年月日	指定障害福祉サービス事業所 平成 25 年 5 月 1 日
送迎車両	ワンボックス 1 台 (車いす仕様) 給食用運搬車 1 台

(2) ご利用状況について

1 年間の生活介護利用者数は営業日数 251 日に対し述べ 3,499 名 (前年比-123 名)、1 日平均 13.9 名 (前年比 0.5 名) でした。生活介護の年度末における利用登録者の年齢構成は、18 歳から 51 歳で若い方が中心で平均年齢は 29.5 歳、男女の比率は男性が 13 名、女性が 15 名となっております。

平均障害程度区分は 5.9 (前年比±0) と、医療的ケア (吸引、吸入、胃ろう、自己導尿など) の重度者割合が高くなっています。退所者 4 名 (体調不良による欠席継続のため、リバティ神戸へ入所 2 名、病死 1 名) がありました。

(3) サービスの内容

- ・特別支援学校卒業見込の生徒の実習受け入れや、日中活動に力を入れています。特に、ボランティア活動者との共同レクリエーションや高等学校との定期交流などは、開園当初から継続していますが、3 月から感染予防対策強化のため受け入れを見合わせています。
- ・はみんぐと、法人別事業所のリバティ神戸で短期入所を併用されている利用者の送迎を行いました。
- ・西区自立支援協議会 (WESTNET) のつながりを活かし、西区内の就労継続支援 B 型事業所や他事業所と交流をはかりました。
- ・牛乳パックのリサイクル活動に取り組みました。集めた牛乳パックを切り開き、就労継続支援 B 型事業所や近くのスーパーのリサイクルボックスへ運ぶ作業を通し、地域貢献・交流をはかりました。

日常のスケジュール

8:30	送迎開始	機能訓練 週4回 体重測定 2ヶ月に1回 更生・健康相談 随時 御家族との面談 半年毎
9:00 (到着後)	健康チェック・入浴 レクリエーション 社会適応訓練・創作活動	
12:00	昼食・歯磨き・服薬	
13:40	レクリエーション・社会適応 訓練・創作活動・支援計画に 沿った個別活動	
15:00	送迎開始	
17:30	業務終了	

年間行事

4月	お花見散歩(10日～1週間) ランチ外出(イズミヤ玉津店 16日・18日・19日・ 22日・24日・25日・26日・30日)	月例行事 ・誕生日会 ・コーヒー喫茶(毎月第2火曜日 ボランティア活動者による) ・カラオケ(随時) ・はみんぐ通信配布(毎月1回) ・紙芝居ボランティア受け入れ (毎月1回) ・絵本読み聞かせボランティア 受け入れ(2か月毎) ・個別活動補助ボランティア受 け入れ
5月	ランチ外出(イズミヤ玉津店 8日・10日・13日)	
6月	夏祭り準備月間	
7月	夏祭り(18日、19日)	
8月		
9月	避難訓練(25日)	
10月	遠足(須磨水族館 16日・28日)	
11月	法人合同ランチ会(14日)	
12月	忘年会(3日・4日) 星陵高校コーラス部コンサート(23日) 自立センターたるみ交流(26日)	
1月	やきいも(22日)	
2月	自立センターたるみ交流(7日) 西区自立支援協議会ワールドカフェ参加(25日)	
3月	避難訓練(13日)	

